

## 練馬区外郭団体中期経営計画の達成状況

団体名	公益社団法人 練馬区シルバー人材センター	団体所管課	高齢施策担当部高齢社会対策課
-----	----------------------	-------	----------------

経営計画期間	令和 2 年度 ~ 4 年度
--------	----------------

### 団体の目指す将来像

- 60歳以上の働く意欲のある練馬区民が会員となり、元気に働き続けている状態
- 会員の就業や地域班の活動が地域社会に貢献している状態

### 取り組みを進めるうえでの「基本的方針」

#### 【会員】

- ① センターの目的や事業を理解できるように入会説明会を充実する。
- ② 会員の経験や資格を活用できるようにデータベースを強化する。
- ③ 多様な職業経験を持つ会員が、一定レベルの接遇を行うように研修を充実する。
- ④ 専門技能職種の会員が技能の維持向上を図る研修を充実する。
- ⑤ 健康診断の受診勧奨、健康体操や健康管理の普及啓発を強化する。
- ⑥ 地域包括支援センター等と連携した介護予防や介護相談等の普及啓発を強化する。

#### 【就業】

- ① 企業向けDM等を活用し、新規発注者を積極的に開拓する。
- ② シルバー派遣事業を拡大し、適正就業を徹底する。
- ③ ワークシェアリングの対象事業を現状に適合させる。
- ④ 円滑に就業できるように個別の就業相談をていねいに実施する。
- ⑤ 会員の経験や資格を生かすため教室事業等の独自事業を拡大する。
- ⑥ 災害警報の発令時に就業を休止できる契約を締結する。
- ⑦ 就業に関係した事故を防ぐため、安全就業・事故防止研修を強化する。

#### 【地域社会への還元】

- ① 地域班への支援を強化し、清掃ボランティア事業を継続する。
- ② お困りごと支援事業等の高齢者の生活支援の就業体制を充実する。
- ③ 地域ブロックが主体的に実施する講演会、研修会等を充実する。
- ④ 地域班が地域行事等へ主体的に参加できるように支援する。
- ⑤ 自動通話録音機の無料貸し出し等の区の事業に積極的に協力する。

#### 【普及啓発活動】

- ① 新たな普及啓発活動計画を策定する。
- ② ホームページを効果的に活用する。
- ③ 地域班による清掃ボランティアや地域行事等への参加を支援する。

#### 【組織】

- ① 地域班組織の運営を安定的に行うため、適切に会員情報を活用する。
- ② 事務局職員の資質を向上し人材育成を促進するため研修を充実する。
- ③ 事務局職員の能力を十分に発揮できるように人事・給与制度を見直す。
- ④ 会員の配分金に含まれる消費税を仕入れ控除できなくなる「インボイス制度」の開始に備える。
- ⑤ 令和3年度末に予定する平和台事業所の移転を円滑に行う。

### 区が外郭団体に求めるもの

高齢者のニーズに合致する、技能や豊富な知識・経験を生かして地域で活躍できる場を確保し、会員の就業機会の拡大を図る。

### 達成状況の評価

外郭団体は、経営計画の取組や達成状況を毎年度、評価する。団体が行う達成状況の評価は、つぎの3段階で評価する。

- 「A」 計画以上に進んだもの
- 「B」 概ね計画どおりのもの
- 「C」 計画どおりに進んでいないもの

### 団体所管課の評価

団体所管課は、年度終了後、団体の取組や達成状況などから、年度の評価を行う。

事業1	会員
取組内容	①入会説明会におけるシルバー人材センターの基本理念、就業規約等の徹底と出張説明会の実施 ②会員の保有資格等のデータベース化(就業機会の提供) ③会員に対する接遇研修等の実施 ④職種別技能研修の実施 ⑤健康診断、健康管理の普及啓発の強化 ⑥地域包括支援センター等と連携した、介護予防対策や介護相談等の実施

目標①-1	入会説明会で説明会のレジュメを配布して説明内容の定着を図ります。			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標①-2	入会説明会で受注案件の一覧表を配布して早期の就業につなげます。			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標①-3	事務局(練馬駅)以外を会場とする入会説明会を実施します。			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	中止	実施
団体の達成状況の評価	—	B	C	B
備考	—		まん延防止等重点措置が発せられたため急遽中止した。	

目標①-4	会員数を増やします。 会員数3,900人			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	3,800人	3,850人	3,900人
実績	3,626人	3,481人	3,451人	3,423人
団体の達成 状況の評価	—	C	C	C
備考	(注)令和4年度達成状況報告時に推定値を実績値に修正した。	新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者の就業意欲が低下したことが推測される。	会員の高齢化による退会者の増加と感染症による就労意欲の低下の影響が推測される。	488人入会したが、会員の高齢化に伴い病気、加齢を理由とする退会者が多く会員数が減少した。
目標①-5	女性の会員率を上げます。 女性会員率36.0%			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	35.5%	35.8%	36.0%
実績	35.2%	35.0%	35.2%	35.2%
団体の達成 状況の評価	—	C	C	C
備考	(注)令和4年度達成状況報告時に推定値を実績値に修正した。	新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者の就業意欲が低下したことが推測される。	女性の退会者が多かった影響が推測される。	入会者に占める女性の割合は43.4%であったが退会者に占める割合も多く女性の会員率は上昇しなかった。
目標②-1	保有資格等をホームページに掲載し、新たな受注を開拓します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	調整中	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	C	B
備考	—		ホームページへ掲載することを全会員に周知したが、希望者がほとんどなく、掲載方法を再検討中。	

目標②-2	技能向上が必要な会員に、就業支援講習等の受講を勧奨します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	一部実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	C	B	B
備考	—	緊急事態宣言等の影響で 就業支援講習の一部が中 止になったため。		

目標③-1	新規に就業する会員を対象にした接遇研修を実施します。(悉皆)			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標③-2	学校施設管理3年目の会員を対象にした接遇研修を実施します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	中止	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	C	B	B
備考	—	新型コロナウイルス感染症 の感染拡大を防止するた め、次年度に延期した。		

目標④-1	造園会社に委託して植木職人の会員に専門技術の実践研修を実施します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			
目標④-2	会員が講師となり、刃物研ぎの実践研修を実施します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			
目標④-3	東京しごと財団が実施する就業支援講習に会員を推薦します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	一部実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	C	B	B
備考	—	緊急事態宣言等の影響で 就業支援講習の一部が中 止になったため。		

目標⑤-1	会員が区民健診を受診するように勧奨します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	中止	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	C	B	B
備考	—	新型コロナウイルス感染症の影響で区民健診が変更になったため、事務局だよりには掲載せず個別に勧奨した。		
目標⑤-2	班活動で練馬区健康いきいき体操を実施するように勧奨します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	一部実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	C	B	B
備考	—	会員が集合する機会を抑制したため回数が減少した。		
目標⑥-1	会員と職員を対象に認知症サポーター養成講座を実施します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	中止	中止	中止
団体の達成 状況の評価	—	C	C	C
備考	—	新型コロナウイルス感染症感染予防のため養成講座は中止し、認知症に関する情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症感染予防のため養成講座は中止し、認知症に関する情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症感染予防のため養成講座は中止し、認知症に関する情報提供を実施した。

目標⑥-2	地域包括支援センターへの適切な情報提供を実施します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			
目標⑥-3	地域包括支援センターと連携し、会員に介護予防情報を提供します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	中止	中止	中止
団体の達成 状況の評価	—	C	C	C
備考	—	新型コロナウイルス感染症 感染予防のため連携はで きなかったが、全会員へ介 護予防情報を提供した。	新型コロナウイルス感染症 感染予防のため連携はで きなかったが、全会員へ介 護予防情報を提供した。	新型コロナウイルス感染症 感染予防のため連携はで きなかったが、全会員へ介 護予防情報を提供した。

#### 取組内容の評価(令和2年度)

団体	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮して事業運営を実施した。入会説明会を、短時間、少人数で回数を多く実施し、入会希望ニーズに応えたが、入会者は前年度より120人減少し、会員数が145人減少した。集合による研修等は一部中止になったものもあったが、可能なものは工夫して実施した。
事業 所管課	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮して、短時間・少人数で入会説明会を実施する等工夫して実施しており、評価する。一部中止した事業等について、引き続き実施に向けた検討を求める。

#### 取組内容の評価(令和3年度)

団体	新型コロナウイルス感染症の影響で計画目標の達成が一部不十分となった。効果的で効率的な入会説明会を実施できたと考えるが、元気高齢者の活躍の場が広がる中で会員規模は拡大できなかった。会員の保有資格等のデータベース化はできたがホームページへの掲載は調整中である。研修の実施、健康についての普及啓発は計画通り実施した。地域包括支援センターとの連携は限定的だった。
事業 所管課	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、事務局以外での入会説明会が実施できず、会員数の増に繋がらなかったが、出張型の説明会を始め、コロナ禍でも対応できるようオンラインでの説明等、様々な方法を検討し、引き続き会員を増やす努力をされたい。また、新たな受注増を図るため、会員の保有資格等のデータを、ホームページに掲載できるよう対応を求める。

### 取組内容の評価(総合評価)

団体	計画期間は新型コロナウイルス感染症の感染防止を図りながらの運営となった。会員数が203人、5.6%減少した。特に令和2年度の145人の減少が大きく回復に至っていない。女性会員率も35.0%から35.2%の間で目標の36.0%に届かなかった。令和5年1月に入会説明会の申し込みをWeb上でできる仕組みを取り入れた。この利用者が増えており、今後は入会の手続きまでWeb上でできるように機能を拡大して入会しやすさを向上させる。令和4年度に実施した事務局以外を会場とする入会説明会は回数を増やして利便性をさらに向上させる。また、多くの会員が希望する就業に就けるように適切な情報提供に一層力を入れるとともに、これまでの健康情報に加えフレイル予防の情報を会員に提供し、病気や加齢を理由とした退会者の減少に努める。
事業 所管課	重症化リスクが高いとされる高齢者を構成員とする団体において、新型コロナウイルス感染症対策を適時適切に行った運営は評価する。令和4年度は、事務局以外での入会説明会を実施した結果、488人入会したが、会員数は3,423人と減少傾向であり、目標値の3,900人には程遠い。入会手続きのデジタル化を含め会員を増やす更なる検討をされたい。また、新たな受注開拓のため、会員の保有資格等のデータをホームページに掲載したが、新たな受注には結びついていない。更なる工夫を求める。

事業2	就業
取組内容	①新規発注者の開拓(企業向けDM等) ②シルバー派遣事業の拡大と適正就業の徹底 ③ワークシェアリングの見直しと拡大 ④会員への就業相談の実施 ⑤独自事業の拡大 ⑥災害時等の安全確保(契約書への記載) ⑦安全就業・事故防止研修の実施

目標①-1	区内企業へのダイレクトメールによる広報を実施します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標①-2	区内産業団体の協力を得て、加入企業への広報を実施します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標②-1	受注時に発注者に派遣事業を説明し、請負と派遣を選択してもらいます。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			
目標②-2	区内企業へのダイレクトメールによる広報を実施します。(再掲)			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			
目標②-3	区内産業団体の協力を得て加入企業への広報を実施します。(再掲)			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標③	事業部会で就業期限のある特定就業を検証し、必要な見直しを行います。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	実施	継続
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標④	会員を対象とした就業相談を毎月実施します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標⑤-1	新規教室事業の企画提案を募集し、新規教室を開設します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	中止	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	C	B
備考	—		新たな時間枠を設けて新規教室事業を開始する予定だったが、既存教室の整理が進まず、中止となった。	

目標⑤-2	教室事業の講師をホームページで広報し、講師派遣を実施します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	調整中	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	C	B
備考	—		ホームページの掲載の仕方について、講師と調整を進め4年度に実施する。	
目標⑤-3	会員の希望を踏まえて、新たな独自事業を研究します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	検討	実施
実績	—	検討	検討	検討
団体の達成 状況の評価	—	B	B	C
備考	—			理事会の下部機関である活性化委員会で検討を継続したが実施には至らなかった。
目標①～⑤	会員に安全で適正な就業機会を提供し、希望する働き方を実現します。 就業実人数2,810人(請負・委任契約)			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	2,690人	2,750人	2,810人
実績	2,663人	2489人	2,420人	2,437人
団体の達成 状況の評価	—	C	C	C
備考	—	新型コロナウイルス感染症感染の影響で就業機会が減少したため。	会員に安全で適正な就業機会を提供したが、会員の高齢化と会員数の減少により就業実人員は減少した。	会員数が減少する中で前年度より17人増加したが目標には達しなかった。

目標⑥	特別警報等の発令時に会員が就業を休止するように契約書に規定します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標⑦-1	職群別研修の機会に安全就業について講義します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	A	B
備考	—		職群別研修に加えて新規 就業者研修でも追加実施 した。	職群別研修に代えて新規 就業者研修において実施 した。

目標⑦-2	班会議で安全管理部会の部会員が安全就業について講義します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	中止	中止	実施
団体の達成 状況の評価	—	C	C	B
備考	—	感染予防のため班会議を 中止したが、安全就業読 本を作成し、全会員に配 布した。	感染防止のため会員が集 合する班会議を中止した ため。	

目標⑦-3	事務局だよりで安全就業を啓発します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標⑦-4	安全就業読本を全会員に配布します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

**取組内容の評価(令和2年度)**

団体	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で就業が休止や時間短縮になった。また、就業会員の申し出による就業中止もあり、就業規模の縮小につながった。会員と直接接する機会が減ったため、安全就業の啓発機会が減った。いずれも、感染症の収束により回復されると考えられる。検討中の取組を実施し、拡大を目指す。
事業 所管課	新型コロナウイルス感染症の影響で就業が縮小している面があるが、多くの会員は就業を継続しており、安全就業の啓発などを確実に実施することを期待する。 また、会員の就業を促進するため、入会時や就業相談で会員の就業に対する希望を把握し、区内の産業団体と連携した企業開拓に取り組むことを求める。

**取組内容の評価(令和3年度)**

団体	新規発注者を開拓するとともにシルバー派遣事業を拡大した。適正就業の徹底を図り、需給状況に合わせてワークシェアリングを見直し、就業相談も計画通り実施した。独自事業の拡大については検討を継続した。また、災害時等に就業を休止できるようにすることで会員の安全確保を図り、機会をとりえて安全就業・事故防止研修を実施した。
事業 所管課	新型コロナウイルス感染症の影響下でも、会員が就労を継続しており、機会を捉えて安全就業・事故防止研修を実施したこと、および新規発注者の開拓のため、区内企業へ複数の方法で広報に取り組んだことは評価する。今後は、会員のニーズを踏まえ、独自事業の拡大に期待する。

取組内容の評価(総合評価)

団体	シルバー派遣事業の拡大、適正就業の徹底、ワークシェアリング、就業相談は計画通り実施した。また、災害時等の就業の休止、機会をとらえた安全就業・事故防止研修を実施した。独自事業の拡大については検討がまとまらず引き続き理事会の下部機関である活性化委員会で検討する。また、会員数が計画通りに増えなかったこともあり就業実人員が目標に達しなかった。令和5年1月から新たにホームページに会員向けページを開設し仕事情報の掲載を始めた。引き続き会員への就業機会の提供を充実していく。
事業 所管課	会員に新たな就業機会を提供するためには、独自事業の拡大が必要と考える。引き続き新たな独自事業を検討し、実施に結びつくよう求める。また、新たにホームページによる会員向けページを開設し、仕事情報の掲載を始めたことで、会員が自分の能力を活かした希望する働き方を実現し、就業実人数が目標に達することを期待する。

事業3	地域社会への還元
取組内容	①地域班による清掃ボランティアの継続と支援の強化 ②お困りごと支援事業等の体制の充実 ③ブロックによる講演会・研修会等の充実 ④地域行事等への参加の拡大 ⑤区の施策に連動した事業の検討

目標①	地域班組織が清掃ボランティアを継続できるように支援します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	一部実施	一部実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	C	C	B
備考	—	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言期間中は中止したが、それ以外の期間は実施した。	新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置の期間は中止したが、それ以外の期間は実施した。	

目標②-1	シルバーサポーターへの登録者を増加させます。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標②-2	シルバーサポーターの得意分野を把握します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標③-1	地域班部会によるブロック事業の検証と検討を進めます。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	中止	中止
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—		検証と検討は終わったが、感 染拡大防止のためブロック 事業は中止した。	検証と検討は終わったが、感 染拡大防止のためブロック 事業は中止した。

目標③-2	ブロックの意向を踏まえて情報等の支援を強化します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	中止	中止	中止
団体の達成 状況の評価	—	C	C	C
備考	—	新型コロナウイルス感染症 感染予防のため会員以外 の区民も参加できるブロッ ク事業は中止せざるを得 なかった。	新型コロナウイルス感染症 感染予防のため会員以外 の区民も参加できるブロッ ク事業は中止せざるを得 なかった。	新型コロナウイルス感染症 感染予防のため会員以外 の区民も参加できるブロッ ク事業は中止せざるを得 なかった。

目標④-1	練馬まつりへの参加を継続します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	中止	中止	実施
団体の達成 状況の評価	—	C	C	B
備考	—	練馬まつりが中止になったため参加できなかったが、アトリウムパネル展等で区民への周知を図った。	練馬まつりが中止になったため参加できなかったが、アトリウムパネル展等で区民への周知を図った。	
目標④-2	地区祭への参加を拡大します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	中止	中止	中止
団体の達成 状況の評価	—	C	C	C
備考	—	地区祭が中止になったため参加できなかったが、アトリウムパネル展等で区民への周知を図った。	地区祭が中止になったため参加できなかったが、アトリウムパネル展等で区民への周知を図った。	参加予定の地区祭が中止になったため参加できなかったが、アトリウムパネル展等で区民への周知を図った。
目標⑤-1	区の施策に連動した事業の継続を図ります。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標⑤-2	新たな区の事業を補完するサービスの事業化を検討します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

**取組内容の評価(令和2年度)**

団体	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業に優先順位をつけ、会員の就業を優先して取り組んだ。このため、地域社会への還元については、就業に直接かかわらない地域班(ブロック)の活動を抑制せざるを得なかった。感染拡大の収束状況を踏まえて再開する。
事業 所管課	お困りごと支援事業やシルバーサポート事業は著しく利用件数が増えている。引き続き、必要な研修を確実にし、需要の拡大に応えられたい。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら、清掃ボランティアなど地域での活動を推進することを求める。

**取組内容の評価(令和3年度)**

団体	感染防止策をとり地域班が主体的に清掃ボランティアを実施できるように支援した。シルバーサポーターを充実してお困りごと支援事業等の体制を強化した。地域ブロックによる事業を検討したが、感染症の拡大防止のため事業の実施は見合わせざるを得なかった。練馬まつり等の地域行事については、中止により参加できなかったが、アトリウムパネル展で区民への広報活動を行った。また、区の施策に連動した事業を検討した。
事業 所管課	お困りごと支援事業やシルバーサポート事業への需要に応え、体制強化をしたことは評価する。感染予防策をとりながら、地域班が清掃ボランティアができるよう支援の継続を求める。また、感染症の動向を見つつ、徐々に地域班による講演会等、ブロック事業の実施に向けて前向きに検討されたい。

**取組内容の評価(総合評価)**

団体	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、就業を優先する事業運営を行った。清掃ボランティアをはじめ中止せざるを得ない事業があったが、徐々に回復している。中止となった事業で可能なものは代替事業により目指す効果の維持に努めた。一方、会員同士のコミュニティである地域班活動の回復が遅れている。今後は、地域班組織の回復を支援する。
事業 所管課	計画期間は、新型コロナウイルス感染症により練馬まつりが中止になるなど地域社会において様々な影響があったが、それぞれに適切に対応した運営を行ったことを評価する。来年度は、普段の日常生活を取り戻し、今まで中止していたことが再開することが見込まれる。清掃ボランティアやブロック事業の実施、練馬まつりや地区祭への参加など、滞りなく事業を実施するとともに、会員同士のコミュニケーションが円滑になるよう地域班活動の支援を強化するよう求める。

事業4	普及啓発活動
取組内容	①新たな普及啓発活動計画の策定 ②ホームページの効果的活用 ③地域班による清掃ボランティアの継続と支援の強化(再掲) ④地域行事等への参加の拡大(再掲)

目標①	複数年度にわたる総合的で効果的な普及啓発計画を策定します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	検討	実施
実績	—	検討	検討	検討
団体の達成 状況の評価	—	B	B	C
備考	—			活性化委員会で検討し、次期中期経営計画に取り込んだが、実施レベルの計画策定には至らなかった

目標②-1	紙媒体の情報発信をホームページにも掲載します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標②-2	個人情報に配慮して会員向けコンテンツを掲載します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	検討	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	C	B
備考	—		パスワードで管理した会員のページを新設する必要があり、ホームページのリニューアルを4年度に実施し対応する。	

目標②-3	新たな受注開拓のため、特殊技能を持つ会員を掲載します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	調整中	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	C	B
備考	—		就業で活用したい技能や資格をホームページへ掲載することを全会員に周知したが、希望がなかった。	

取組内容の評価(令和2年度)	
団体	令和2年度は、紙媒体のホームページへの掲載を実施したほか、普及啓発活動の検討を進めた。その他の検討中の課題も含め、ホームページの一層の充実に取り組む。
事業 所管課	2年度はホームページの効果的活用など普及啓発の計画の検討をしているが、会員が使いやすく、かつ、発注が増えるものとなるよう期待する。

取組内容の評価(令和3年度)	
団体	総合的で効果的な広報を検討して新たな普及啓発活動計画策定の準備をした。ホームページの効果的活用を図る一方、ホームページのリニューアルを実施すべきであるとの判断から、一部の計画は翌年度に持ち越した。地域班による清掃ボランティアを通じた区民への普及を支援した。地域行事が中止になったが、アトリウムパネル展で普及活動を行った。
事業 所管課	会員が使いやすいよう、ホームページのリニューアル実施に向けて準備が進められていることについて評価する。令和4年度はホームページのリニューアルを実施するとともに、通訳など特殊技能を持った会員の情報が的確に提供され、発注件数増に繋がることを期待する。

### 取組内容の評価(総合評価)

団体	活性化委員会で検討し、中期経営計画に普及啓発活動計画を取り込んだ。ホームページのリニューアルを実施し、Web受注、Webによる入会説明会の申し込み等を導入し活用範囲を拡げた。引き続きさまざまな手法を活用した普及啓発活動に取り組む。
事業 所管課	ホームページのリニューアルを実施し、webによる受注など利便性を高めたことを評価する。練馬区の元気高齢者が高齢期を過ごす選択肢の一つとして、シルバー人材センターの情報が届くように希望する。中期経営計画に基づき普及啓発を確実に実施するとともに、複数年度にわたる総合的で効果的な普及啓発計画の検討を求める。

財務・組織	財務・組織
取組内容	①会員情報の把握を徹底するとともにその活用により、班組織の運営を安定的に行う。 ②職員向け研修の充実 ③人事・給与制度の見直し ④消費税のインボイス実施への対応 ⑤平和台事業所移転の対応 ⑥受注の拡大と会員の従業促進(マッチング)

目標①-1	事務局が地域班運営に情報支援します。			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標①-2	事務局が班長等の交代に際して情報支援します。			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標②-1	係ごとのOJTを充実します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			
目標②-2	東京しごと財団の職層研修、専門研修の受講を推進します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			
目標②-3	練馬区の職員研修を受講します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	実施	実施	実施
実績	—	実施	実施	未実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	C
備考	—			職員に適当な研修がな かったため受講者を推薦 しなかった。

目標③-1	無期雇用職員と有期雇用職員の処遇の均等・均衡を図ります。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	実施	実施
実績	—	検討	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			
目標③-2	組織力強化委員会を設置し、事務局職員にふさわしい処遇を検討します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	検討	実施
実績	—	検討	検討	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			
目標④	消費税のインボイス実施への対応を検討します。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	検討	検討
実績	—	検討	検討	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	A
備考	—			方針を決定し発注者及び 会員への周知を図った。

目標⑤	平和台事業所移転の準備を進めます。			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	検討	実施
実績	—	検討	検討	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標⑥	事業規模を拡大し、事務費等による収入を増やします。 請負、委任、派遣の合計契約金額1,420,000千円			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	1,408,000千円	1,414,000千円	1,420,000千円
実績	1,397,072千円	1,262,896千円	1,332,927千円	1,388,509千円
団体の達成 状況の評価	—	C	C	C
備考	—	新型コロナウイルス感染症の影響で就業の休止、縮小があったため。	コロナの影響で休止していた就業が回復し、前年度実績より5,600万円程度増加したが計画を達成するには至らなかった。3年度に設置した理事会の下部機関の「活性化委員会」で受託拡大方策について検討しており、4年度は受託を拡大し計画達成を目指します。 (注)令和4年度達成状況報告時に実績数値を修正した。	コロナの影響で休止していた就業が回復し、前年度実績より7千万円程度増加したが計画を達成するには至らなかった。「活性化委員会」の検討を踏まえて、5年度も会員数と受託業務の拡大に取り組む。

取組内容の評価(令和2年度)	
団体	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で就業が休止や時間短縮になった。また、就業会員の申し出による就業中止もあり、就業規模の縮小につながった。法改正に伴う労働条件の見直しは完了した。組織力強化委員会による現状確認や課題の抽出と解決策の検討を行った。引き続き事務局組織の見直しを進める。
事業 所管課	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら会員組織に対する支援を実施している点は、評価される。 事務局の組織力を向上させるため、区の研修などを活用するなど、職員の育成に努めるとともに、組織力強化委員会で抽出した課題の解決に向け取り組まれない。

取組内容の評価(令和3年度)	
団体	会員情報を把握し班組織の運営をより安定的に行った。職員向け研修を計画通り実施するとともに事務局職員にふさわしい人事・給与制度を検討した。法人経営に大きな影響が想定される消費税のインボイス制度について、情報収集と対応策の検討を行った。平和台事業所の移転後の有効活用を検討するとともに円滑な移転に向けての準備をした。全体的にコロナの影響により落ち込んだ受注の回復を図った。
事業所管課	地域班への情報提供・会員からの情報把握を積極的に行う等、班運営の安定化に努めている。また、職員を区の職員研修や職層研修、専門研修に参加させ、職員育成を図っていることは評価する。平和台事業所の移転や消費税のインボイス実施への対応等の課題に向け着実に準備されたい。
取組内容の評価(総合評価)	
団体	事務局が把握した情報を活用して班組織の運営を支援した。職員には必要な研修を受講させた。事務局職員の人事・給与制度を見直し、必要な規程改正を行った。令和5年10月に始まる消費税のインボイス制度への対応を行った。平和台事業所移転の準備を進めた。事業規模の拡大については新型コロナウイルス感染症の影響から脱却できなかったが回復傾向にあり、引き続き受注の拡大と会員の就業促進に取り組む。
団体 所管課	事務局職員の人事・給与制度の見直し、事業者や会員へのインボイス制度の周知を図ったことは評価する。契約金額の目標を達成できなかったことから、更なる受注の拡大および会員の増加に取り組まれたい。また、平和台事業所の移転準備については、引き続き周到に準備し円滑に実施されたい。